

オープンカテゴリー 競技ルール

1. 競技ルールは WRO Japan 本部実行委員会（これ以降「委員会」とする）により制定される。

2. 参加資格とチーム構成

WRO Japan 2019 参加規約を必ず確認してください。

3. 材料

3.1. 各チームに用意されるブースのサイズは、2m x 2m x 2m である（各チームはブース内に 3 面の垂直な展示面が与えられる。それぞれ 2m x 2m もしくは可能な限りこれに近い）。

(注) Japan 決勝大会の場合は、設営の関係上、後方の壁（パーティション）のみで、左右の壁はありません。床上にテープを貼って 1.8m x 1.8m のサイズを確保します。後方は 1 枚 90cm のパネルを 2 枚置きます。ご了承のほどお願いいたします。

3.2. 各チームの展示物の全ての要素は、割当の 2m x 2m x 2m のブースエリアの中に必ず収まっていること。チームのメンバーはプレゼンテーション中、このエリアを出てもよいが、審査員からの要請がなければ、ロボットや他の展示物は割当エリア内に収まっていること。

(注) Japan 決勝大会の場合は、1.8m x 1.8m x 1.8m となります。

3.3. 各チームはオプションでテーブルが用意される。テーブルのサイズは 120cm x 60cm（もしくは可能な限りこれに近い）。テーブルのサイズは各チーム共通である。テーブルはチームに割り当てられた 2m x 2m の床スペースの中に置かれていること。各チームはブースにイス 3 つが用意される。

(注) Japan 決勝大会の場合は、1.8m x 1.8m の床スペースとなります。

4. ロボットの規定

4.1. レゴ®部品と他の材料との割合に制限はない。

4.2. 使用するソフトウェアは何を使用しても良い。

4.3. コントローラー（インテリジェントブロックやマイコンボードなど）は何を使用しても良い。

4.4. ロボットおよびソフトウェアは事前に組み立てたものを持ち込むことができる。

5. 競技

5.1. オープンカテゴリーチームは次の過程をおこなうこと。

- ・ 最終組み立てと試験運転
- ・ ブース準備（ポスター掲示などを含む）
- ・ ルール遵守確認の事前検査を受ける
- ・ 最終準備時間（ルール遵守を確認のこと）
- ・ 審査員へのデモンストレーションとプレゼンテーション（審査員からの質疑応答を含む）、

および、一般の観客に対するデモンストレーションとプレゼンテーション

- 5.2. 各チームはロボットに何ができるか、ロボットがどのように独自性を持つか、テーマをどのように理解したかを、字や図でまとめたレポートをデジタルデータで提出すること。

レポートには絵・図・異なる角度からの写真やプログラムの例を含む視覚的説明を含むこと。

レポートのコピーを審査の際に紙で審査員に手渡すこと。

- 5.3. 各チームは、120cm x 90cm 以上の大きさのポスター 1 枚以上をブースに貼ること。

(注) Japan 決勝大会の場合は、A0サイズ (1189 mm×841mm) 以上とする

ポスターはロボットのプロジェクトを観客に紹介するものであること。

6. プレゼンテーション

- 6.1. 各チームの飾り付けは、所定の時間内に完成し、審査員と一般の観客へのプレゼンテーションの準備を終えていること。

- 6.2. 各チームはいつでも一般の観客や審査員にプレゼンテーションできるようにするため、競技時間中はチームのブース内に必ずいること。

- 6.3. 各チームの審査時間は 10 分とする：

説明とロボットデモンストレーションに 5 分間、審査員からの質疑応答に 5 分間。

7. 審査基準（最高点=200点）

カテゴリー	評価分野	得点
プロジェクト	合計	50
	作品の創造性	(10)
	作品の質	(15)
	調査及びレポート	(15)
	エンターテインメント性	(10)
プログラミング	合計	45
	自動化	(15)
	論理性	(15)
	複雑さ	(15)
工学的デザイン	合計	45
	技術的理解	(15)
	工学的ねらい	(10)
	機械の効率	(10)
	構造的安定性	(5)
	美的さ	(5)
プレゼンテーション	合計	40
	デモンストレーションの成功	(15)
	コミュニケーション力及び説得力	(10)
	思考力の早さ	(5)
	ポスター及び装飾	(5)
	プロジェクトのビデオ	(5)
	チームワーク	合計
学んだ事の統一性ある発表	(10)	
参加度	(5)	
チームスピリット	(5)	
	最高得点	200

***注意** テーマに沿わないプロジェクトは0点となります。